

特集の取材で会えなかった動物がいます。それは2月に天国へ旅立ったキリンのムサシ(10歳)です。優しい瞳が特徴で、餌やり体験では子どもたちの行列ができるほどの人気者。わたしも大好きでした。園には、来園者がムサシにあてて書いたたくさんのメッセージカードが掲示され、「天国でもみんなのことを見守っていてね!」「いい思い出をありがとう。そしてお疲れさま」「むさしくんの分も一生けんめい生きるね」など、ムサシへの深い愛情やいたわりが感じられるものばかり。動物と来園者の間で築かれていた心のつながりに感動しました。(H)



考えていただいた人  
岸川佳子さん

電子レンジで簡単! お茶がらはカテキンをはじめたくさんの栄養が残っているので、無駄がなく、ごみも減ります。

- 1人分の栄養価 熱量334kcal  
タンパク質11.9g、脂質5.6g、塩分1.8g
- 平成22年度ヘルシークッキングコンテスト一般部門優秀賞

元気な朝ごはんレシピ

レンジで簡単☆  
お茶の葉パワー丼!!

- 材料・4人分
- ごはん 600g
  - 緑茶葉(乾燥) 大さじ1と1/2
  - しょうゆ ①小さじ1②大さじ2
  - かつお節 1パック(3g)
  - 玉ねぎ 1個(270gくらい)
  - 砂糖、水 各大さじ1
  - 卵 4個

作り方

- ①お茶を急須で入れる。
- ②お茶がらは少し水を切り、かつお節と混ぜ、しょうゆ①で味をつける。
- ③玉ねぎは薄切りにする。
- ④大きめの皿にクッキングシートを敷く。
- ⑤玉ねぎ、しょうゆ②、水、砂糖を④に入れ、レンジで5分加熱する(途中で一度混ぜると均一になる)。
- ⑥⑤に割りほぐした卵を加え、レンジで1分半加熱する。
- ⑦丼にごはんを入れお茶がらを混ぜる(トッピング用に少し残しておく)。その上に⑥を乗せ、最後に残しておいたお茶がらを飾る。

第24回 WORLD NO TOBACCO DAY

5月31日は「世界禁煙デー」

禁煙週間  
5月31日~6月6日

「世界禁煙デー」とは世界保健機関(WHO)が定めた禁煙を推進するための記念日。日本では世界禁煙デー以降の1週間を厚生労働省が「禁煙週間」と定めています。この機会に、たばこや受動喫煙について考えてみませんか?

●「禁煙啓発活動」と「出前禁煙相談」

とき 5月29日(日)14時~16時  
ところ 島瀬公園、四ヶ町アーケード  
市民の皆さんと一緒に、ティッシュ配布や吸い殻拾いなどの活動を行います。参加していただける人は、当日10分前までに島瀬公園に集合してください。また公園内では「出前禁煙相談」を行いますので、気軽にお立ち寄りください。

●市役所本庁舎などが一日禁煙になります!

5月31日(火)は市役所本庁舎などが1日禁煙になります。

●非喫煙者意思表示バッジ

「たばこの煙を吸いたくない」という意思を周囲に伝えるためのバッジです。健康づくり課で販売中です(1個500円)。



健康づくり課 ☎24-1111

市民公益活動団体自立化支援基金

愛称が「佐世保すまいる基金」に決定!



● ボランティアを応援するための基金

「市民公益活動団体自立化支援基金」とは、「ボランティア活動には参加できないけど、活動を応援するために寄付という形で参加できる」という市民の皆さんの思いをカタチにできる基金。このたび、この基金の愛称が「佐世保すまいる基金」に決定しました。

● みんなが笑顔になれますように

昨年実施した基金の「愛称募集」には70作品の応募がありました。愛称審査選考委員会による一次審査と市民による投票の結果、最優秀賞に輝いたのが「佐世保すまいる基金」。大浦幸子さん(松浦市、長崎国際大学在学)の作品でした。愛称には「佐世保に住んでいる人たちがみんなが笑顔になれますように、基金で地域が活性化されますように」という意味が込められています。

●「市民公益活動団体自立化支援補助金」の応募団体を募集

すまいる基金を活用したNPO等の活動活性化のための補助金の応募団体を募集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。募集期間▷5月2日(月)~31日(火)

市民協働推進室 ☎24-1111

健康づくり課から 結核の話

● 結核は「現代」の病気

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられていた結核。50年前までは年間死亡者数も十数万人に及び、死亡原因の第1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思っていたら大間違いです。全国では今も1日に約68人の新しい患者が発生し、約6人が命を落としている重大な感染症なのです。

(平成21年実績)

項目	全国	佐世保市
結核新規患者登録数	24,170人	57人
結核の罹患率※	19.0人	22.7人

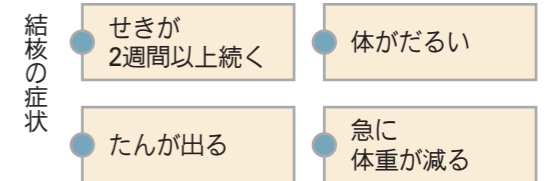
※罹患率=人口10万人に対する患者の人数  
長崎県の罹患率は全国5位になっています。

● 空気感染

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核菌が混ざったたんが、せきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによつてうつります。これを「空気感染」と言います。

● こんなときは病院へ

結核の初期症状は風邪とよく似ています。せきやたんが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。症状が1カ月以上続く人からは25人に1人の割合で結核患者が見つかっています。



● 結核の予防

せきやたんが続いたら医療機関を受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。特に赤ちゃんは抵抗力が弱く、結核に感染すると重症になりやすいと言われています。予防するためにはBCG接種が有効です。生後3カ月~6カ月に接種しましょう。

健康づくり課 ☎24-1111

歴史 散歩 第550回

天満宮の四天王・下の原町

撮影・文 ● 筒井隆義

学問の神さま、天神さまこと菅原道真公を祭る天満宮は、八幡さんと並んで全国に多い神社の代表です。小森川中流に近い下の原町の天満宮には、いかめしいひげを生やした四天王像や阿弥陀如来が合祀され、珍しい神仏合祀のお堂となっています。

四天王は、仏堂の四方を守る東の持国天、南の増長天、西の広目天、北の多聞天を指します。いずれも武器を手に甲冑を着けた武将の姿。このうち多聞天は、毘沙門天の別名で知られ、福德富貴の神なので単独で信仰されることが多い天部の神です。下の原天満宮の四天王もおそらく毘沙門天でしょう。

近所に住む福本孝明さん(五十七歳)によると、天満宮の所在地は長倉という字で、近くの小山が山伏平、その上に阿弥陀寺という寺があり、修験道の行者である山伏もいたと語り伝えられ



下の方から三川内にかけて多い福本姓ですが、孝明さんも過去帳で享保二十(一七三三)年の福本甚兵衛までさかのぼる旧家です。水利に恵まれた豊かな農村地帯の、深い信仰心の一端を物語るのが下の原の天満宮なのです。

「山の上の寺は不便なので、いつのころか天満宮に近い長倉に移し、現在のお堂に改築するとき、阿弥陀如来も毘沙門天も合祀しました」と福本さんは語られました。

ところで、金色の甲冑もいかめしい毘沙門天は、思わぬ災難に遭いました。太平洋戦争後に心ない者によって首だけ盗まれてしまったので、やむなく首だけ後で作って補ったのです。像高一・二メートルほどの姿は、よく見ると首の部分が何となくしっくりしていないのが見てとれます。